

田富小だより

短いけれど 楽しい夏休みを

いつもならもう夏休みですが、子供たちは暑さにも負けず学校生活を送っています。学習の遅れも取り戻しつつあります。朝の健康チェックから始まり放課後の消毒作業まで、新型コロナ対策に追われた1学期でした。これだけの対策をとっていても、いつだれが感染しても不思議ではない状況にあります。感染リスクを0にすることは、不可能です。考えてみれば交通事故のリスクなど、新型コロナウィルス以外のリスクとも背中合わせで私たちは生活しています。私たちにできることは、できる限りリスクを少なくして活動することだと思います。学校でも、できる限りの対策をして、これまで通りの学校生活が送れるように、全教職員で取り組んできました。運動会の半日開催は苦渋の決断でしたが、中止にしないための方策でした。保護者の皆さまの御理解御協力が必要なこともあります。2学期もよろしくをお願いします。

8月1日からは、待ちに待った夏休みが始まります。短いけれど、子供たちにとって有意義で楽しい夏休みになることを祈っています。

夏休みに向けての提言

① しっかり家庭学習

夏休みは、自主的に学習に取り組む習慣を身に付けるよい機会です。子供と一緒に、通知表をもとにして復習する学習内容を確認したり夏休みの計画を立てたりする機会をもってください。低学年の場合は、いっしょに学習計画を立てることをお勧めします。

② 思いっきり体験

体験は豊かな感性を育むとともに知的発達にも大きな影響を及ぼします。動物園や植物園、博物館や美術館、歴史的建造物などを訪れ、教科書の写真で見たものの実物を生で見る経験をさせるのも夏休みの有効な活用方法だと思います。短い夏休みですが、新型コロナに配慮しつつ、できる範囲でそんな機会を設けていただけると嬉しいです。

③ 自分の命は自分で守る

夏休みは、子供だけで家で過ごす時間も多くなります。地震の時、玄関のベルが鳴った時、電話が鳴った時どうするか等の行動の取り方を御指導下さい。特に、心配なのが交通事故です。「交差点 一度止まって 右・左・右」「ヘルメットの着用」の徹底についての指導を御家庭でお願いします。新型コロナウィルスの脅威も去ったわけではありません。休み中も石鹸での手洗いやうがいの徹底、三密を避けることも徹底させてください。

④ 平和について考える

夏休み中には、広島・長崎に原爆が投下された日や終戦記念日があります。75年前の子どもたちは、アニメ「火垂るの墓」で描かれたよりもさらに悲惨な状況におかれていました。戦争の事実を子供たちに伝えることは、私たち大人の責任だと思います。テレビを見ながら、同じ本を読みながら、親子で平和について考え、語り合う機会をもってみてはいかがでしょうか。

私が出会った素敵な子供の姿

①毎日、誰かが「やってみるじゃんノート」を見せに校長室に来てくれます。自学ですので、学習内容にはその子の個性が感じられます。これまでの「やってみるじゃんノート」を大切にしている子もいます。自分の力で一生懸命取り組んだからこそ、大切にしているのだと思いました。このような小さな充実感が積み重なって子供は自信をもち、さらに大きく成長していくのです。

②2年生のサツマイモ畑に雑草が茂っていました。自学ノートを出しに来たAさんに、「サツマイモが草で見えないけど大丈夫かな？」と問いかけました。すると、次の日「草がサツマイモの栄養を取っちゃうから草取りをしないとだめです。」と答えに来てくれました。そこには、「土の中の養分への気付き」「植物の種類による成長の速さの違いへの気付き」など、科学的認識の芽生えが感じられます。充実した生活が、充実した学びにつながることを実感した子ども姿でした。

田富小ニュース

5年 林間学校

7月20日・21日に、5年生の林間学校が行われました。みんなで話し合って決めたゴール「自然を楽しみ、みんなで協力して、きずなを深めよう！」に向かって準備を進め、当日も高学年らしい頑張りを見せてくれました。



野外炊事では、薪を使って御飯を炊き、カレーを作って食べました。何杯もおかわりする子もいました。冒険ハイクと絵図ハイクでは、地図を頼りに班の仲間と助け合いながら、ゴールを目指しました。清泉寮のソフトクリームの味も最高でした。途中で雨に降られることもありましたが、予定していたプログラムの全てを行うことができました。初めての宿泊行事で不安もあったと思いますが、楽しい思い出とともに自分達で乗り越える充実感も味わうことができました。これからの学校生活における5年生の活躍に期待しています。



先輩からの本のプレゼント

7月16日に、昭和45年度卒業生3名が来校し、児童用図書をお届けくださいました。「ふるさと中央市や身の周りの人々を大切にする気持ちをもってください。」というメッセージもいただきました。図書委員会代表の児童が受け取り、お礼の言葉を伝えました。同じお話が日本語、英語、ポルトガル語で書かれていることから、外国の言葉や世界の国々とのつながりにも興味をもてそうです。

困っています！

6月から何度か、深夜何者が学校の敷地内に侵入し、中庭や児童玄関あたりでたむろし、たばこやごみを散らかしていきます。十代の若者の仕業だと思われます。登校してきた子供たちからも「ひどい。なにこれ。」という声が聞こえてきました。各学級で「人の迷惑になることを平気でするような人にならないようにしよう。」と指導を行いました。警察に通報し、パトロールを強化していただいておりますが、一日中人の目があるわけではありません。深夜、学校の近くを通ったとき、大声で騒いでいる声や複数の人影に気付いたときは、ためらわず110番通報をお願いします。